

第6回 ありがとう卓越経営大賞——〈卓越社員賞 最優秀作〉——

推薦者： Yさん（取締役）

推薦された社員： Sさん（営業部所属）

推薦文

我が社はここ数年30%の増収増益に業績を残していますが、過去に2回の大きな危機がありました。今と以前との違いは、人財の差であると思います。

その中心となっているのが営業の責任者であるSさんです。とても人柄がよく、誰からも好かれる人でまさに誠実という言葉がよく似合う人です。朝は誰よりも早く出社し九州工場の営業責任者として活躍し、当社にはなくてはならない存在として成長してくれています。

そしてその誠実な対応と人柄の良さで、お客様により良いものをより早くお届けするために、と努力を続けています。

その為、お客様からの信頼も厚く彼が営業担当になってから売り上げも大きく伸びてきて今の業績に繋がっています。お客様のお役に立つと思う気持ちが人一倍強く、それが結果として数字に表れているのだと思います。そんな彼への社内からの評価はとて高く、多くの仲間から常に頼りにされている社員です。

また、Sさんの会社における役割は社長の支えとなり、そして現場の社員さんとの懸け橋となっています。社長の思いや、伝えたいことを理解し、現場に落とし込むだけでなく、仕事で悩んだり、行き詰っている人にすぐにフォローに入り、勇気づけ励ましてくれています。お客様への思い、社員への思いが伝わってくる彼の自主的な行動には心から感謝しています。

彼は、社会貢献としてPTA会長も行っています。その際には、社長に「PTA会長をやってほしい」と言われているのですが、引き受けたいと思っております。そうすると入学式と卒業式の2日間お休みをいただきたいと思っています。仕事はしっかりと行い、会社には迷惑をかけないようにしますので、許可していただけますか」と、しっかりと礼を通してはいる点は、今の彼の営業から身に付けたスキルかもしれません。

Sさんの責任者として自覚と役割が、お客様さまからの信用は大きな原動力となり、私たちの目標である社会に必要とされる会社、そして樹脂精密加工業界日本一となり、納税と雇用を通して社会貢献して、百年企業となるためのビジョンにこれからも大いに活躍してくれるものと思います。

推薦した社員様に伝えたいメッセージ

会社に私が入社した大きなきっかけを作っていただいたSさんには、心から感謝しています。あなたが創業者の息子である私に「いつ頃入社されるんですか」との言葉で、私は会社に入社するという気持ちを持ちました。社員さんは私が入社することを望んでくれているという事を感じ、自分の決意をしっかりと出さなければならないと一つの覚悟が決まった瞬間でした。これからも、その人柄で会社を支え続けてください。

